

質問者	質問事項・内容	答 弁 者	答弁内容（検討事項）	検討・対処結果
高良議員	<p>①有害鳥獣対策について ・近年、有害鳥獣被害は甚大なものがあり、農家は大きな不安を抱えて農業に取り組んでいる。それに加え熊・鹿の目撃情報もある。熊については他の動物とは異なり人的被害を伴う可能性もある。町としてどのような対策を取っているか聞きたい。</p> <p>②高齢者の安否確認について ・独居高齢者には安否確認のためにペンダント型の緊急通報装置が配られているが、携帯されていないことが多い。もっと携帯しやすい物にする考えはないか。</p> <p>③小中学生の登校時の安全確保について ・小学校の通学路については関係機関で点検されている様であるが、結果を保護者に報告する必要があるのではないか。</p> <p>・川本大橋歩道の新設工事が島根県より発注されているが、鮎の漁期ということで工事が止まっている。生徒の安全を考えれば一刻も早く工事を行う必要があるのではないか。</p>	<p>森川産業振興課長</p> <p>木村健康福祉課長</p> <p>谷川教育課長</p> <p>三宅町長</p>	<p>・基本的な進め方として、集落みんなで餌付けとなるようなことはしない。囲いや追いはらいの実施。駆除の実施による個体の減少といった取り組みを進めている。鹿については、今年4月、駆除の対象となり、駆除方法について今後、研究していきたい。また、熊については、島根県、広島県、山口県の西中国地域においてツキノワグマは、環境省のレッドブックに「絶滅のおそれのある地域個体群」と記載され、3県で指針を定め、保護管理対策を推進している。今後は、関係機関と連絡を密にして、安全確保に向けて迅速な対策を実施していくよう努めていく考えである。</p> <p>・自分の命を守るためのものという認識を深めてもらいながら、携帯することの重要性を理解してもらうことも必要である。今後は、光通信を活用した高齢者の見守り支援等を関係機関と連携し、財政状況も踏まえながら、検討していきたい。</p> <p>・関係機関が児童とともに下校しながら、危険箇所の確認や通学方法の点検を行った後、状況報告等を行い、協議している。その後、学校内で報告をとりまとめ、児童への安全指導に活用、そして参観日等を利用して、保護者にも情報提供を行っている。</p> <p>・川本大橋は、児童・生徒の通学路となっており、朝夕の通勤時間帯や特に降雨・降雪時、大型車両との擦れ違いの時に、非常に危険な思いをしている状況である。このような状況を踏まえ、通学路の安全確保のため、歩道橋の早期完成に向け、県に要望したいと考える。</p>	

